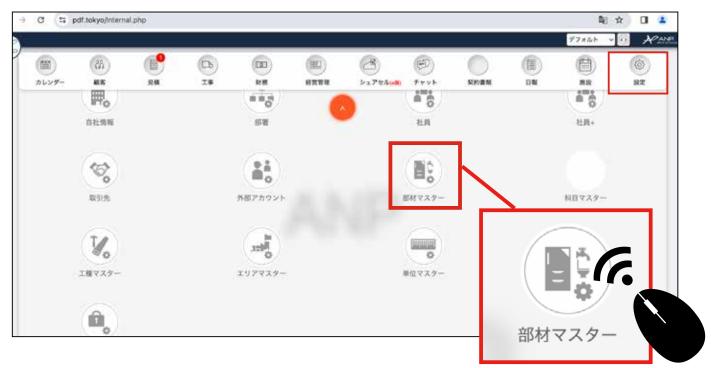
➡ 部材マスターマニュアル (設定)

● メニューから設定のアイコンを選択し、開いた画面から部材マスターをクリックします。この部材マスターは、PDF 積算(オプション)の部材マスターと、SHARE の見積>実行予算と連動しています。部材マスター登録の前に 工種マスターの登録を済ませておいてください。

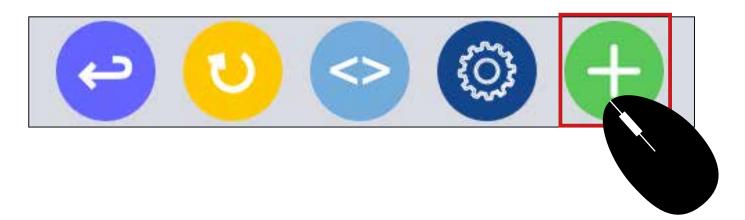


2 部材マスターの登録画面が表示されます。





新規登録ボタンをクリックします。



2 新規登録画面が表示されます。

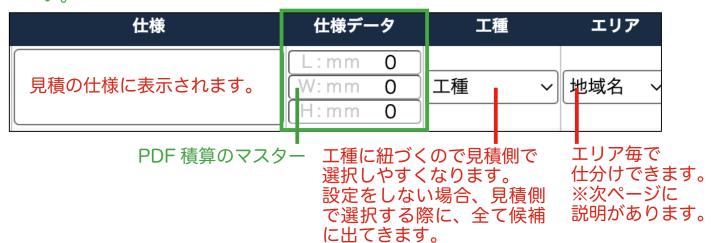


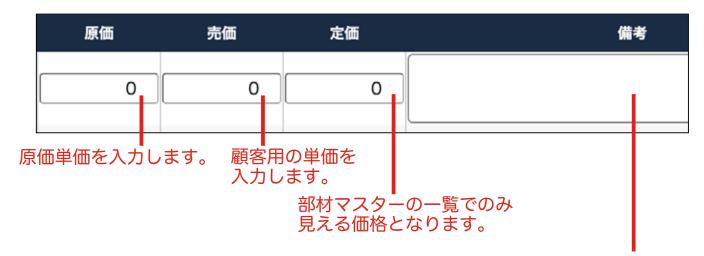
複製ボタン※全く同じ内容の部材は、反映しない ので名称や仕様の内容を変えてください。 登録後はコピーボタンでコピーできなくなります。 🔞 部材の情報を入力します。



ニュアルをご覧くださ U10

見積の仕様に表示されます。



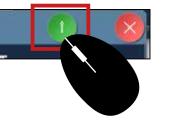


部材マスターの一覧と、見積側で選択する時のみ 見える備考となります。見積に備考には反映され ません。

4 入力後、右上の



アイコンをクリックすると登録されます。



┗ エリアについて

■ エリアマスターにエリアを設定し、部材マスターでエリアを設定すると、見積側で抽出が簡単になります。(メニュー>設定>エリアマスター)



エリアマスターには区分するために地域以外でも登録できます。



➡ 部材データの CSV データ取込み

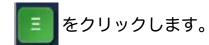
取込みできる部材 CSV データの項目は、 タイプ 種別 部材番号 メーー カー 名称 仕様 仕様データ L 仕様データ W 仕様データ H 工種 エリア 単位 原価 売価 定価 備考 の順に登録されたデータを取り込めます。

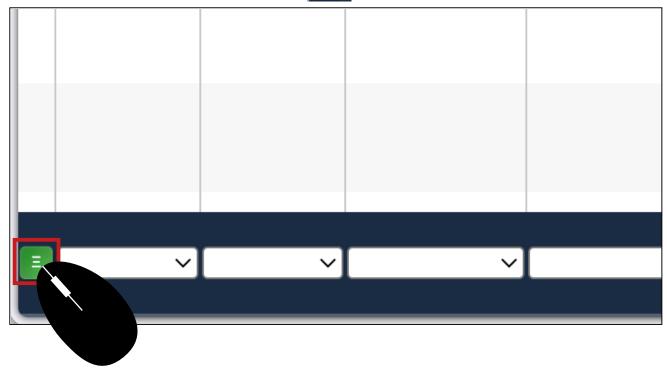
タイプ	種別	部材番号	メーカ		名称
仕様		仕様データ		工種	エリア
原価	売価	定価			備考

部材 CSV データーを用意できたら、新規登録画面から取込みを行います。

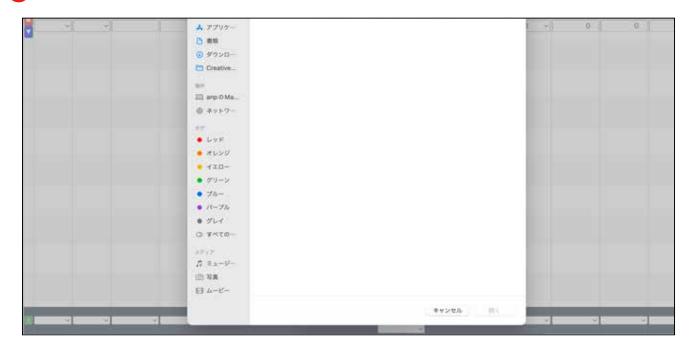


❸ 部材データ CSV を取り込むため、





4 部材データ CSV ファイルを選択します。



⑤ 選択後、下部が未設定という表示になります。 未設定の箇所をクリックします。



取り込んだデータの場所を先頭から順に指定します。



タイプ 種別 部材番号 メーカー 名称 仕様



仕様データL

仕様データ W

仕様データH エリア 単位 原価 定価 備考 工種 売価

6 指定している最中から取り込まれていることが画面上で表示されます。



取り込みしない箇所がある場合は、無指定のままにします。

7 指定が終了したら右上の アイコンをクリックして保存します。

